

問題 106 事例を読んで、L相談支援専門員(社会福祉士)の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

〔事例〕

相談支援事業所のL相談支援専門員は、中程度の高次脳機能障害をもつMさん(34歳, 男性)の父親から、「これからどうしていったら良いのでしょうか, 先行きが全く見えません。息子は, 毎日, 目的なくただ過ごしています。いったい何をしているのでしょうか。一日も早く自立してもらいたいです」と相談を受けた。これまでMさんは, 父親の友人から紹介された職場で何度か就労を経験しているが, 長続きしなかった。また, 地域活動支援センターの利用は, 父親がやめさせている。最近のMさんは, 毎日, 地域の公民館のロビーに行って過ごし, 夕方になり帰宅するという生活で, その状態が半年以上続いているとのことである。

- 1 Mさんの気持ちを確認の上, Mさんの考えを伝えるために父親に三者面談を提案する。
- 2 父親の考えを尊重し, Mさんと個別面接を行い就労自立に向けた努力をするよう助言する。
- 3 日中活動の場が必要なため, Mさんと個別面接を行い作業所への通所を勧める。
- 4 Mさんと個別面接を行い, 父親の気持ちを代弁してこれ以上心配をかけないように伝える。
- 5 就労先確保のため, 障害者の雇用経験をもつ事業所に関する情報を父親に提供する。